

# 佐賀建設新聞

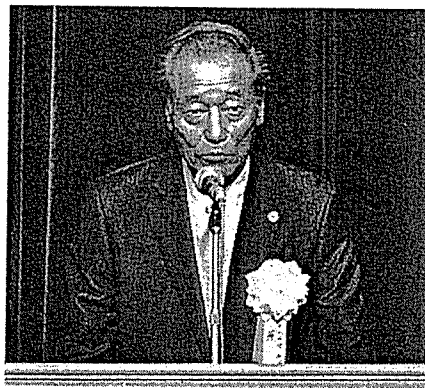
発行所  
株式会社 建設新聞社  
〒849-0301  
小城市牛津町乙柳1145-7  
TEL 0952-66-5750 (代)  
FAX 0952-66-5751  
購読料 月額5,775円(税込)  
毎週火・木・土曜日発行  
社団法人日本専門新聞協会会員  
ホームページ  
<http://www.kensetsunews.co.jp>  
e-mailアドレス  
kssaga@lime.ocn.ne.jp

## 有明海干潟の実証試験

# 底質改善効果を報告

## 日本建設技術グループ

### 研究発表会



あいさつする日本建設技術グループの原裕社長

日本建設技術グループの2010年度研究成果発表会が3日、唐津シーサイドホテルで開催された。原裕社長をはじめ、企画開発戦略本部の3人がミラクルソル（発泡廃ガラス）を用いた有明海干潟の底質改善効果や、水質浄化に関する活動実

績などを報告した。発表会は毎年開催しており、今回で7回目。

発表会には、関連5社から社員約150人が出席。冒頭、原社長は「これからは提案型の工事や設計が増えるため、技術力を高めることに加え、関連会社の連携を深めて協力していくことが重要。今年も選ばれる、スマートな会社づくりに取り組むたい」とあいさつした。

成果発表では、地盤環境研究室の牛原裕司主任が「有明海干潟域におけるミラクルソルを用いた底質改善効果の実証」と題し、鹿島市の干潟で行った実証試験の結果を報告。ミラクルソルを使用する効果として▽夏場における硫化物の生成抑制▽台風・波浪による分級減少

の緩和(改善効果の持続)▽酸素を含んだ海水の浸透による酸化反応の促進—を挙げた。

続いて、水環境研究室の飯田拓史研究員が「水質浄化用ミラクルソルに関する経過・活動報告」として、水産養殖用ろ過材「クリスタルバイオ」の広報活動について発表。錦鯉専門誌への広告掲載や、展示会出展などの活動内容を報告し、従来品(サンゴ)と比べ、安くして軽い同製品の特長などを説明した。今後は海水魚養殖分野での販路拡大に取り組む方針。

原社長は09年度と同グループの活動内容や、新たに開発した軽量盛土工術の「FWG&チューブ軽量土工法」を紹介。新工法は、ミラクルソルをチューブに詰めユニット化する工法で、材料縮減や工期短縮が期待できるという。

最後に原社長は「建設業、建設関連業を大切に



し、新分野へ事業を拡大することで業界の不況を乗り切れる。時代の変化に敏感な会社が生き残る」とまとめ、今後も建設企業として挑戦を続ける方針を示した。

このほか、発表会では功労者表彰、新入社員紹介も行われた。